※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）食理論	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・食品の調理特性、調理操作、調理機器の特徴を調理科学の見地から総合的に学び、理論の概要を理解した上で、実験・実習などにより知識や技能を確かなものとし、知識と技能を身につけましょう。
・身に付けた知識と技能を実験・実習や生活の中で活用し、課題やその解決法を考えながら実践し、改善・工夫できる問題解決力を身に付けましょう。
・学習を実生活で活用し、栄養と健康面に配慮した食生活が送れることを目標としています。

２　学習の到達目標

①栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技能を身に付けている。
②食生活を総合的に捉えて計画・実践するための課題を見いだし、解決策を構想するなど思考を深め、考察したことを根拠に論理的に説明するなど、食に関する生活課題を解決する能力を養う。
③食生活に関する諸問題に関心をもち、自己や社会のよりよい食生活の推進に向けて主体的に、粘り強く取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技能を身に付けている	食生活を総合的に捉えて問題を見いだし、解決策を構想して実践し、考察したことを根拠に基づいて表現するなど、食に関する生活課題を解決する能力を身に付けている。	自己だけでなく社会のより良い食生活の推進に向けて、主体的に粘り強く取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、後期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	健康と食生活	◆ アレルギー調査 ◆ 食理論を学ぶ意義 ◆ 食事の意義と役割 ◆ 食を取り巻く現状	a:食事の意義と役割、食を取り巻く現状について理解している。 b:食事の意義と役割、食を取り巻く現状について考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 c:さまざまな人と協働し、自分の考えを調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。新しい学習に向けての意欲がみられる。	プリント	プリント	プリント 発言 行動観察
	栄養素と食品	◆ 栄養素と消化･吸収 ◆ 各栄養素の働き ◆ 食品とその特徴	a:栄養素の役割、種類、消化・吸収・代謝について科学的に理解している。食品の特徴、調理性、加工について理解している。 b:からだの中でそれぞれの栄養素がどのような働きをしているのかを考えることができる。栄養素と食品の学習を結び付け、日常の食生活の改善点について考えることができる c:栄養素や食品の知識を生かして食生活改善しようとしている。学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	プリント 考査	プリント 考査 実験･実習 発表 話し合い 行動観察	プリント 発言 行動観察 実験･実習
		◆ 食事摂取基準 ◆ 食品群別摂取量のめやす ◆ 献立作成	a:食事摂取基準が健康維持・増進、また生活習慣病の予防を目的としていることを理解している b:食品群別摂取量のめやすなどを活用し、ライフステージに応じた献立を考えることができる。食生活と健康の関係や問題点を知り、自分の食生活を振り返って考えたり発表したりすることができる。 c:自分の食生活が健康に結びついていることを意識し、食生活の改善に意欲的である	プリント 考査	プリント 考査 実験･実習 発表 話し合い 行動観察	プリント 発言 行動観察 実験･実習
	食品の取り扱い	◆ 食品選択のコツ ◆ 食品の衛生と安全	a:食中毒の特徴と予防法について理解し、リスクを減らす技術を身に付けている b:調理の安全や衛生について具体的に考えることができる c:食の安全・衛生について関心をもち、実生活でも役立てようとしている。	プリント 考査	プリント 考査 実験･実習 発表 話し合い 行動観察	プリント 発言 行動観察 実験･実習
	調理操作と調理器具	◆ 調理の目的 ◆ 調理操作と調理器具	a:調理器具や調理の方法とその目的について理解している。さまざまな調理操作を活用できる。 b:調理操作の方法と目的を実験・実習で検証し、理論に基づいた考察をしたり、発表したりすることができる。 c:実際にさまざまな調理操作を試してみる意欲がある。実生活でも、おいしさや安全を考えて行動しようとする主体的な態度が見られる	プリント 考査	プリント 考査 実験･実習 発表 話し合い 行動観察	プリント 発言 行動観察 実験･実習
	食育	◆ 食生活と環境	a:近年の食の課題を理解し、資源、エネルギーに配慮した食品の購入、調理、保存ができる。 b:食の問題を地球規模で考えることができ、消費者としての行動を含めて考えることができる。 c:社会全体に目を向け、持続可能な社会へむけた食について自分にできることはないかを意欲的に考えようとしている。	プリント 考査	プリント 考査 実験･実習 発表 話し合い 行動観察	プリント 発言 行動観察 実験･実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度